

留学生政策の行方

文部科学省 高等教育局

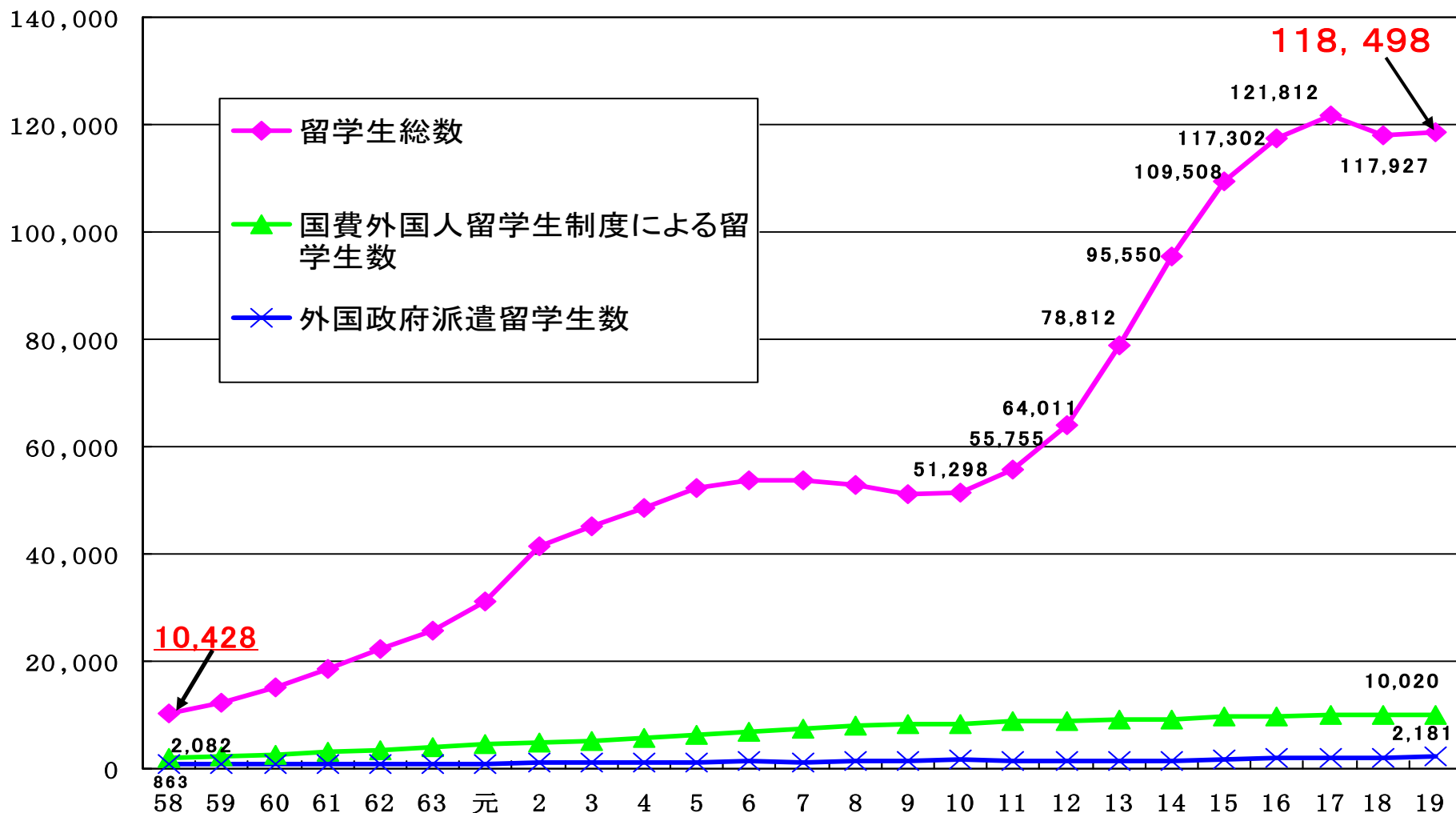
学生支援課 留学生交流室長

池田 輝司

○ 留学生数の現状

■ 留学生数の推移(各年5月1日現在)

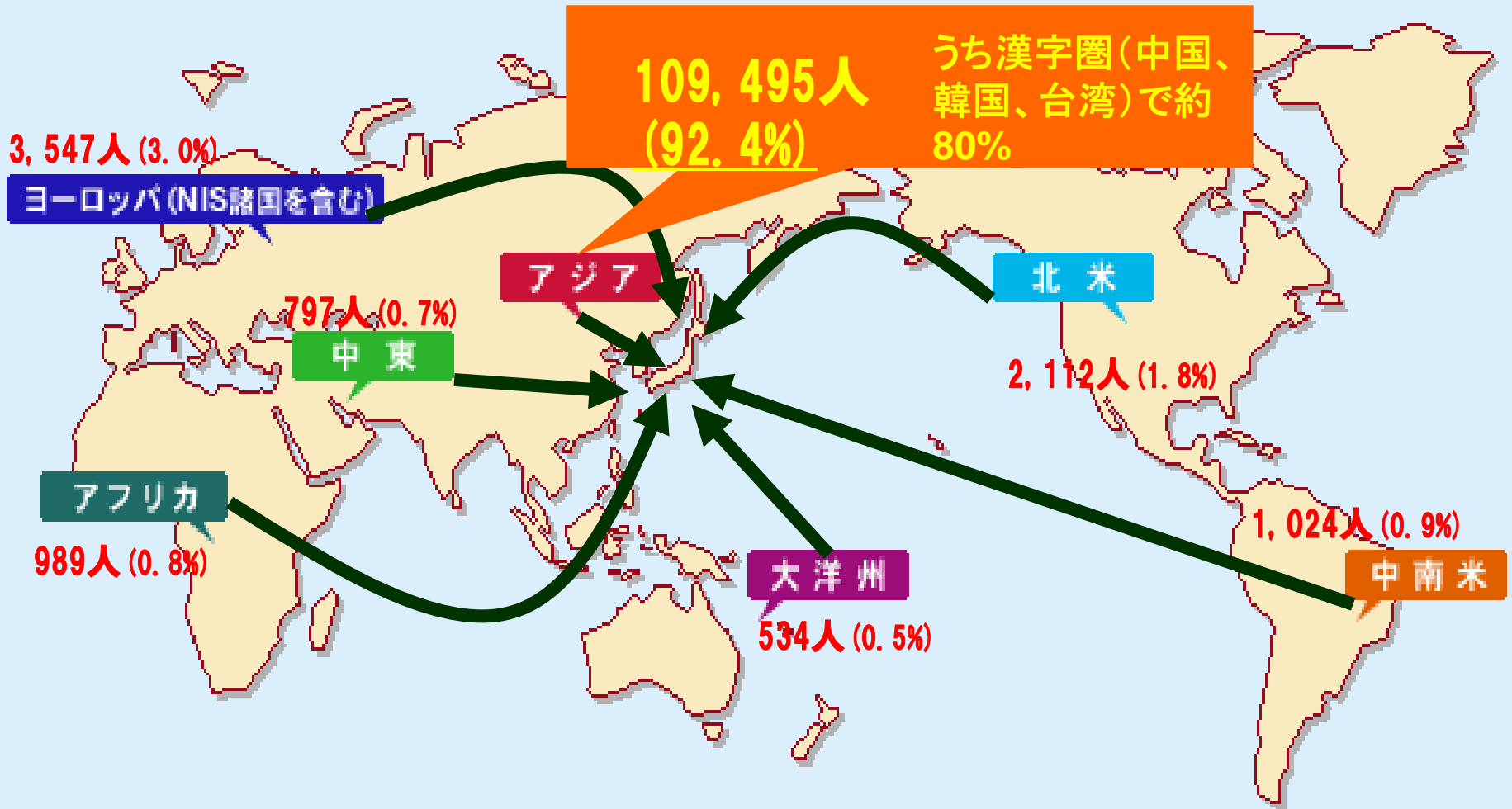
(日本学生支援機構調べ)



出身地域別留学生数

平成19年5月1日現在

総数 118,498人



出身国(地域)別留学生数

平成19年5月1日現在

国・地域名	留学生数	国・地域名	留学生数
中国	71,277	米国	1,805
韓国	17,274	インドネシア	1,596
台湾	4,686	バングラデシュ	1,508
ベトナム	2,582	ネパール	1,309
マレーシア	2,146	その他	12,225
タイ	2,090	合計	118,498

出身国(地域)別短期留学生数

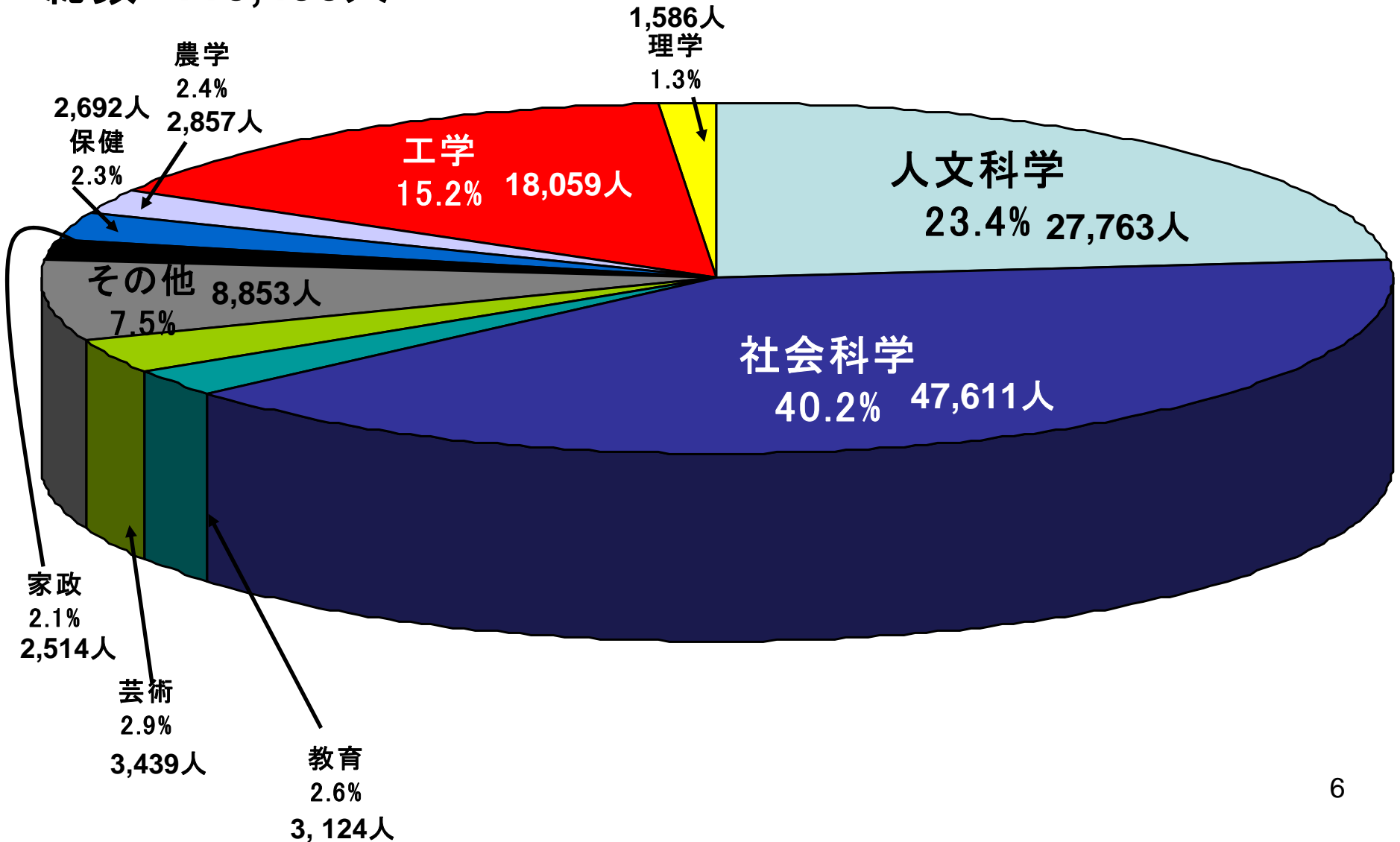
平成19年5月1日現在

国・地域名	短期留学生数	国・地域名	短期留学生数
中国	2,070	タイ	201
韓国	1,764	英国	200
米国	1,252	オーストラリア	195
台湾	529	カナダ	143
ドイツ	305	その他	1,419
フランス	290	合計	8,368

専攻分野別留学生数

総数 118,498人

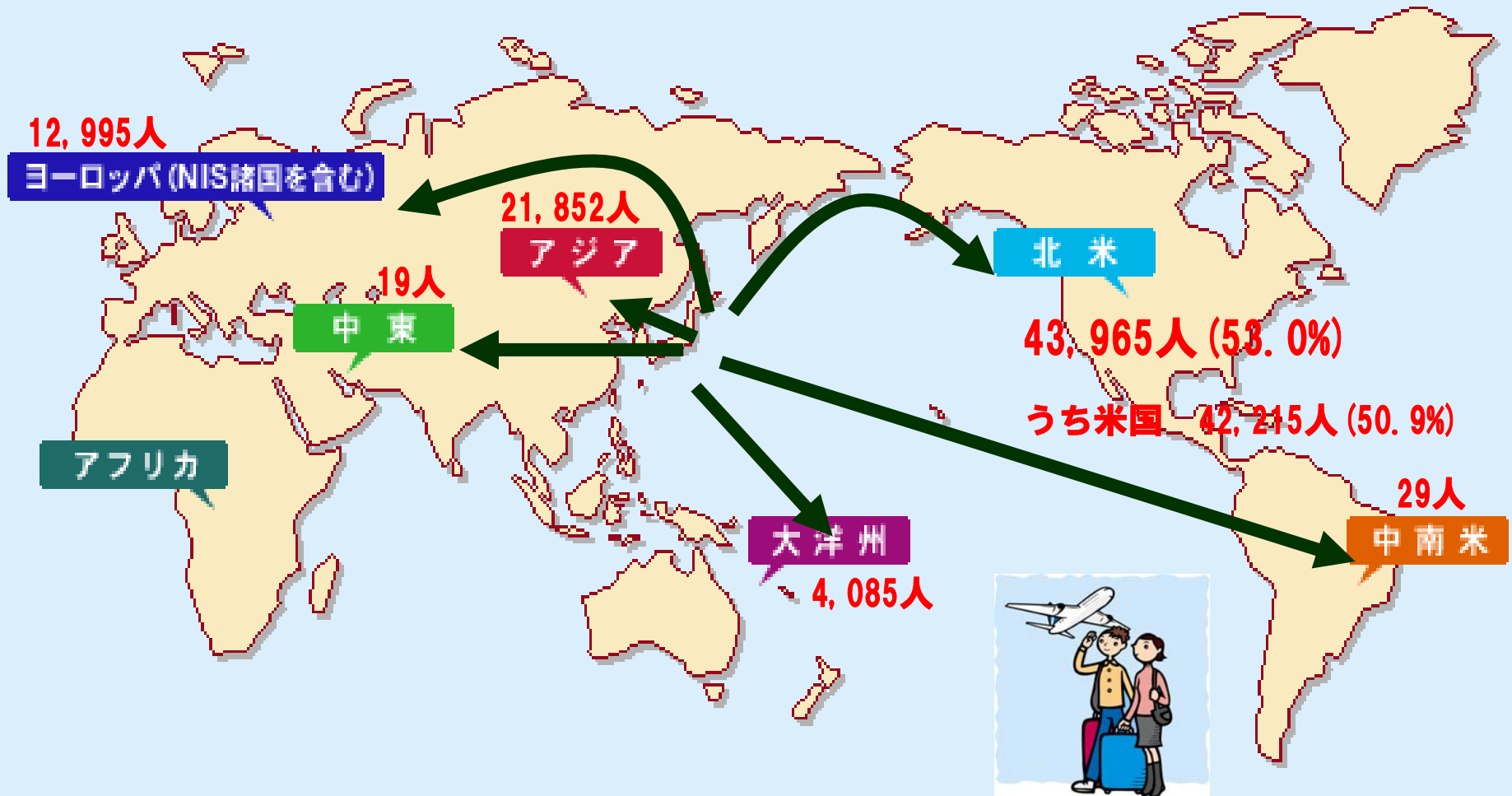
平成19年5月1日現在



■ 日本人の海外留学者数

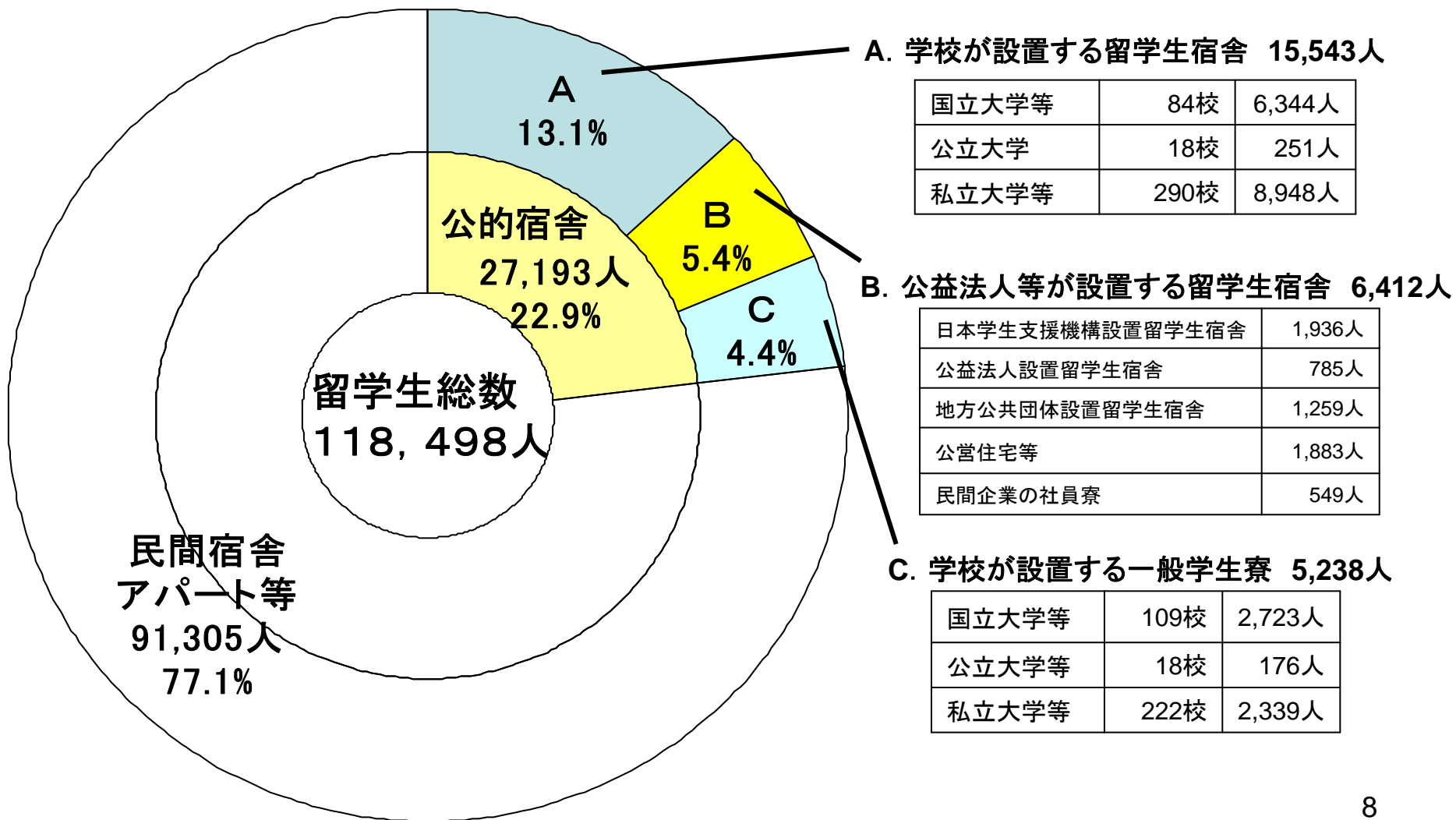
総数 82,945人(主要30カ国)

2004年



留学生宿舎の状況 (平成19年5月1日現在)

○公的宿舎入居留学生数 27,193人(前年度比 574人減)



留学生WGの設置に関する参考資料

中央教育審議会答申
「新たな留学生政策
の展開について」
(平成15年12月)

- 留学生受入れ・派遣の両面で一層の交流推進
- 留学生交流の推進は各大学等が主体的役割を果たすことを基本
- 日本人の海外留学への支援
- 留学生の質の確保と受入れ体制の充実
- 日本学生支援機構設立等による支援体制の強化

+

骨太2007

国家戦略としての
留学生政策を推進
など

教育再生会議

戦略的・機動的に
国費外国人留学
制度を改善など

アジア・ゲートウェイ

留学生受入シェア
確保、海外現地機
能強化など

イノベーション25

博士課程在学者の留
学支援の充実など

中央教育審議会
大学分科会
制度・教育部会

【平成19年10月～】

留学生ワーキング・グループ

今後の留学生交流の在り方につき、
ワーキング・グループを設置し検討



平成20年度留学生交流関係予定額

平成20年度予定額 **407億円**

〔平成19年度予算額 407億円〕

〔 〕は平成19年度予算額

1 外国人留学生奨学金制度等の充実

241億円〔 240億円〕

(1)国費外国人留学生制度

223億円〔 223億円〕

11,854人 ⇒ 11,974人 (120人増)

〔外交的要請に対応した戦略機動枠の創設(100人)、大学の戦略的な留学生受入れ枠(300人)を創設。〕

(2)短期外国人留学生支援制度 1,800人

18億円 (新規)

〔国として戦略的に短期留学支援制度を拡充するため、JASSOの「短期留学推進制度」を発展的に廃止(Δ1,700人)し、補助事業を新設〕

2 私費外国人留学生等への援助

114億円〔 114億円〕

(1)私費外国人留学生等学習奨励費



81億円〔 81億円〕

・大学・専門学校等 11,375人 ⇒ 11,410人 (35人増)

・日本語教育機関 675人 ⇒ 690人 (15人増)

〔優秀な留学生を積極的に受け入れるため、日本留学試験を活用した渡日前入学許可による奨学金給付枠200人等を拡充〕

(2)授業料減免学校法人援助

33億円〔 33億円〕

3 留学生宿舎の確保等受入体制の充実

41億円〔 43億円〕

(1)留学生宿舎事業

2億円〔 2億円〕

大学等の留学生宿舎借り上げ支援(新設) 2,000戸
留学生宿舎建設支援 60戸 → 80戸 (20戸増)

(2)日本留学試験の実施

(3)日本留学フェアの実施 等

4 日本人学生の海外留学の支援

11億円〔 9億円〕

(1)長期海外留学支援

5億円〔 4億円〕

・派遣 158人 ⇒ 199人 (41人増)

(2)短期留学推進制度

6億円〔 5億円〕

・派遣 720人 ⇒ 730人 (10人増)

この他に、

○奨学金貸与制度(有利子)による海外留学の支援 

40億円〔 27億円〕

・貸与人員 2,637人 ⇒ 3,577人 (940人増)